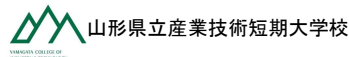


令和6年度 公開講座のご案内



高度な技術の習得やスキルアップしようと考えている方、少人数制の研修を希望する方を対象に各種講座を開講します。
ご自身や社員の皆様の技術向上等に、是非ご利用ください！



コース名	Pythonによるコンピューター制御の基礎	日数	2	時間	12
概要	プログラム言語Pythonは、わかりやすい文法が特徴のプログラミング言語であり、ネットワークを利用したデータ送受信やデータ解析を行うことができます。本講座では、Python言語を用いてコンピューター制御の基礎を学び、ネットワーク上の三菱製PLCやArduinoの制御を行います。(最小実施人数2名)	実施日時	8月5日(月) 8月6日(火) 10:00~17:00		
対象者	コンピューター制御(Python)に興味のある方	定員	5	受講料	6,000
コース名	DXを実現するための生産改善セミナー(1)品質管理の基礎	日数	5	時間	15
概要	生産現場のデジタル化の推進には生産性・品質・安全性の向上を図る必要があります。品質向上に取り組むためには、現場から管理者まで関わる全ての人が品質管理の考え方を知り、それに基づいて活用できることが必要です。本講座では、現場で使えることを目的に教科書に書かれている内容「品質管理の考え方、データの取り方と見方、QC七つ道具、新QC七つ道具など」について基礎から説明いたします。また、受講生が希望されれば、現場で発生している品質や品質管理上の課題への対処方法について具体的な検討も行います。(最小実施人数2名)	実施日時	5月15日(水) 5月22日(水) 5月29日(水) 6月5日(水) 6月12日(水) 18:00~21:00		
対象者	不問(事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能)	定員	6	受講料	6,900
コース名	DXを実現するための生産改善セミナー(2)生産管理の基礎	日数	5	時間	15
概要	生産現場のデジタル化の推進には生産性・品質・安全性の向上を図る必要があります。生産管理の手間をかせずに行うためには計画が重要となります。この計画の基礎となるのが、3S(整理・整頓・清掃)、見える化、標準化、工数把握などです。本講座では、生産管理を行う上で基礎となる3Sや標準化などの考え方とその進め方について習得します。また、生産現場の現場を把握し、改善策を考える際に有効なIE手法(工程分析、稼働分析、動作解析)や生産方式の違い(セル生産、ライン生産)についても学びます。座学だけでなく、模擬生産ラインの分析・改善を通して、体験的に生産管理に必要なスキルを習得することができます。(最小実施人数2名)	実施日時	6月19日(水) 6月26日(水) 7月3日(水) 7月10日(水) 7月17日(水) 18:00~21:00		
対象者	不問(事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能)	定員	6	受講料	6,900
コース名	DXを実現するための生産改善セミナー(3)ヒューマンエラー防止	日数	5	時間	15
概要	生産現場のデジタル化の推進には生産性・品質・安全性(失敗防止、事故防止など)の向上を図る必要があります。様々な現場においてヒューマンエラーを要因の一つとする事故や損失が発生しており、作業者の安全・品質向上のためにヒューマンエラー防止が大切な課題となっています。本講座では、ヒューマンエラーの防止方法、ヒューマンエラーが発生しても事故が起きない仕組みの構築方法について日常や生産現場の事例に基づいて説明します。また、近年、安全分野では失敗事例だけでなく、成功事例に目を向けることの大切とされています。そこで、安全分野における最新の取組みについても紹介いたします。さらに、今後の自動化の進展を考慮し、保全についてお話しさせていただきます。(最小実施人数2名)	実施日時	8月21日(水) 8月28日(水) 9月4日(水) 9月11日(水) 9月18日(水) 18:00~21:00		
対象者	不問(事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能)	定員	6	受講料	6,900
コース名	DXを実現するための生産改善セミナー(4)コミュニケーションスキル向上とマニュアル作成	日数	5	時間	15
概要	生産改善やデジタル化に向けたいいアイデアを思いついても、それを相手に理解してもらえなければ採用してもらえないのではないのでしょうか。そのため、現場改善を円滑に進めるためには、コミュニケーション能力が非常に重要となります。本講座では、担当者が行った実験、講義で取り組んできた結果、様々な文献に基づき、誤りなく伝達を行うための会話における説明・確認の仕方、文書によるマニュアルの作成方法を体験的に習得します。そして、組織における効果的な情報共有の方法について説明します。(最小実施人数2名)	実施日時	10月9日(水) 10月16日(水) 10月23日(水) 10月30日(水) 11月6日(水) 18:00~21:00		
対象者	不問(事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能)	定員	6	受講料	6,900
コース名	DXを実現するための生産改善セミナー(5)産業用ロボット・シミュレータの活用	日数	6	時間	18
概要	生産現場ではICT(情報通信技術)・IoTなどのデジタル化(DX:デジタルトランスフォーメーション)やロボットの活用が言われています。近年、これらを容易に導入できる機器が多数開発されています。本講座では、最近、本校メカトロニクス科に導入された最新の簡単便利ツールである「からくり装置」、「人協働ロボット」、「簡単制御機器」、「人間行動分析ツール」などの使い方を学び、これらを現場でどのように活用するかについて検討します。(最小実施人数2名)	実施日時	11月13日(水) 11月20日(水) 11月27日(水) 12月4日(水) 12月11日(水) 12月18日(水) 18:00~21:00		
対象者	不問(事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能)	定員	6	受講料	7,800
コース名	DXを実現するための生産改善セミナー(6)生産改善の進め方	日数	6	時間	18
概要	現場の生産性・品質・安全性向上には、中心的な役割を果たす改善リーダーと改善の必要性を理解したリーダーをサポートする現場作業員が必要となります。本講座では、変化・変動の社会に対応した改善リーダーと改善の必要性を理解した作業員の育成を目的に必要な知識(生産管理などの管理技術、コミュニケーションなどのノンテクニカルスキル)の習得を目指します。改善の進め方の説明に際し、担当講師が実際に取組んだ改善事例(中防防「安全と健康」2020年連載)、人材育成の事例(IE協会「IEレビュー」236号)を中心に紹介します。(最小実施人数2名)	実施日時	1月8日(水) 1月15日(水) 1月22日(水) 1月29日(水) 2月5日(水) 2月19日(水) 18:00~21:00		
対象者	不問(事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能)	定員	6	受講料	7,800
コース名	生産改善の基礎と発展セミナー(1)【基礎】(経営工学と人間工学リポート)	日数	4	時間	12
概要	この講座は「DXを実現するための生産改善セミナー」の概略版になります。「経営工学」や「人間工学」はあまり馴染みのない分野かもしれませんが、現場改善・機器/サービス開発の基盤となる実践的な分野です。本講座では、教科書に書かれている内容を現場でどう活用するかに焦点を当て、経営工学・人間工学分野に関連する①講座の趣旨と経営工学・テラの科学的管理法②品質管理③生産管理④人間工学⑤安全工学⑥情報共有⑦ロボット・デジタル技術の活用に関する概要を紹介します。(最小実施人数2名)	実施日時	8月22日(木) 8月29日(木) 9月5日(木) 9月12日(木) 15:00~18:00		
対象者	不問(事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能)	定員	6	受講料	6,000
コース名	生産改善の基礎と発展セミナー(2)【発展】デザイン思考に基づく戦略的改善	日数	4	時間	12
概要	生産性向上には、効率化と高付加価値化が求められています。そこで、効率化によって得られた余裕を使った「新しい製品やサービスの開発」や「戦略的な新たなカイゼン」の取組み手法の理解を進める必要な時期にきています。また、現場ボトムアップによる取組には限界があり、管理や経営者層から示される戦略が重要になってきています。このような考え方に基づく生産改善を進めるにあたり、近年様々なところで注目されているユーザー体験を重視したデザイン思考の考え方を活用した取組みについてご説明させていただきます。(最小実施人数2名)	実施日時	10月18日(金) 10月25日(金) 11月1日(金) 11月8日(金) 18:00~21:00		
対象者	不問(事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能)	定員	6	受講料	6,000

DXを実現するための生産改善セミナー

生産改善の基礎と発展セミナー

電子情報セミナー	コース名	IoTセミナー「IoTクラウドの基礎」	日数	2	時間	12
	概要	近年、IoTを構築する上でクラウドを利用するケースが増加傾向にあります。クラウドを利用することで、場所を問わずデータを参照する事やグラフ表示、データ解析が容易になってきています。本講座では、Raspberry PiとPythonを用いて、データのセンシング、クラウド上のデータベースの格納、データベースのグラフ表示、データ監視、データ分析を実習ベースで行います。	実施日時	7月30日(火) 7月31日(水) 10:00~17:00		
	対象者	クラウドを用いたIoT技術を習得したい方、Windowsの基本操作ができる方	定員	5	受講料	6,000
	コース名	IoTセミナー「Raspberry Pi を用いた電子情報技術の基礎」	日数	2	時間	12
	概要	Raspberry Pi は、名刺サイズの超小型コンピュータです。PCのように使うことができる他、センサ、LED、モーター等を接続して直接制御することができます。また、Raspberry Pi にインストールされているPythonは、わかりやすい文法が特徴のプログラミング言語で、電子制御にも利用することができます。本講座では、これらを用いて電子情報技術の基礎を学習します。	実施日時	8月1日(木) 8月2日(金) 10:00~17:00		
	対象者	プログラミングが本業でない技術者で、Windowsの基本操作ができる方	定員	5	受講料	6,000
	コース名	IoTセミナー「PCベース計測制御プログラミングの基礎」	日数	2	時間	12
	概要	LabVIEWはグラフィカルなプログラミング環境で、ソフトウェア開発を専門としない者でも計測制御プログラムの開発が容易にできるため、企業におけるテスト環境の構築や試作機の開発などの開発業務から、国内外の大学での教育研究まで幅広く用いられています。本講座では、LabVIEWを用いたアプリケーション開発やテスト環境の構築に必要なプログラミングの基礎を学び、アナログ入出力の利用法と取得したデータの処理・分析法を学びます。そして、簡単な計測制御アプリケーション開発を通して、LabVIEWによる計測制御プログラミングの基礎技術を習得します。(テキスト有:3,080円)	実施日時	8月8日(木) 8月9日(金) 10:00~17:00		
	対象者	プログラミングが本業でない技術者で、Windowsの基本操作ができる方	定員	5	受講料	6,000
コース名	IoTセミナー「IoTマイコン基礎」	日数	2	時間	12	
概要	Arduinoとはイタリアで開発されたワンボードマイコンです。オープンソースハードウェアでありマイコンの回路から開発環境に亘る全てが公開されているため、だれでも自由に開発への参加が可能です。この講座では、一通りの開発手順を体験するためマイコン技術と組み込みプログラミングの基礎を取得する他に、ネットワークを用いたサービスとの連携を体験します。	実施日時	9月26日(木) 9月27日(金) 10:00~17:00			
対象者	ネットワークとマイコンの連携を体験したい人、Windowsの基本操作ができること	定員	5	受講料	6,000	
情報通信技術セミナー	コース名	情報通信技術セミナー(問題発見・解決のためのデータサイエンス~データの取扱いと分析手法の基礎)	日数	2	時間	12
	概要	世の中に存在する様々なデータを活用して価値を創出するための基礎的な概念を実践を通して学びます。特に分析ツールRとExcelを用いて基本的なデータ分析手法を実践的に学び、分析結果から何が分かるのかといった傾向を掴めることを目的とします。	実施日時	7月24日(水) 7月25日(木) 9:00~16:00		
	対象者	データ分析を始めようとしている方、コンピュータの基本操作ができる方	定員	5	受講料	6,000
コース名	情報通信技術セミナー(社内ネットワーク構築入門)	日数	4	時間	12	
概要	Cisco製ネットワーク機器を用いて、社内ネットワークを模したネットワークシステムの設計と構築をハンズオンで学びます。仮想環境を用いることで、様々な形態のシステムを模した構築を演習し、トラブルシューティングを含めたネットワークシステムの安定稼働についてスキルを深めます。	実施日時	10月15日(火) 10月22日(火) 10月29日(火) 11月5日(火) 18:00~21:00			
対象者	ネットワークシステムの構築に興味がある方、Cisco製ネットワーク機器のオペレーションを学びたい方、ネットワークに関する基礎知識があり、コンピュータの基本操作ができる方	定員	8	受講料	6,000	
建築・設備技術者セミナー	コース名	建築設備初級技術者研修	日数	2	時間	12
	概要	本講座は、山形県管工事業協同組合連合会と連携し、県内建築設備関連企業に就職した新入社員及び初級技術者を対象として、建築設備関連分野全般に対する基本知識を学び、基礎力向上を目指すことを目的として開講するものです。講座では、始めに設備が備えられる建築とその目的となる環境工学の分野の概要を学んでから、給排水衛生設備、空調設備、設備施工について解説します。(テキスト有:2,860円)(最小実施人数2名)	実施日時	4月4日(木) 4月5日(金) 9:00~16:00		
	対象者	建築設備関連職種の方、これから系統的に勉強をはじめられる初級技術者	定員	5	受講料	6,000
	コース名	環境技術(水処理技術)入門講座	日数	2	時間	12
	概要	水質に関わる概論、汚水処理方法についての基礎知識及び各種汚水処理方法に加えて、汚濁物質の測定技術について学習します。(最小実施人数2名)	実施日時	7月30日(火) 7月31日(水) 9:00~16:00		
	対象者	排水処理関連職種の方、実務経験のある方またはこれから排水処理職種に就く方	定員	5	受講料	6,000
	コース名	2次元CADによる建築製図基本講座	日数	3	時間	18
	概要	建設業界では、ICT活用による業務の効率化が求められており、設計・施工情報の電子化は必須の技術となっております。本講座では、その基本となる 2次元CADによる建築製図技術を、業界で利用率の高いCADソフトを用いて基本操作方法から学びます。(最小実施人数2名)	実施日時	7月31日(水) 8月1日(木) 8月2日(金) 9:00~16:00		
対象者	建築関連職種の方、Windowsのファイル操作とワープロ入力ができる方	定員	5	受講料	7,800	
コース名	BIMの概念と建築3次元CAD入門講座	日数	2	時間	12	
概要	建築生産プロセスにおける生産性向上とコスト縮減及び品質向上等を目的として、急速に導入が進んでいるBIM(Building Information Modeling)の概念と、その基盤技術となるBIM対応の建築3次元CADの基本操作方法及びプレゼンテーション画像作成方法を学びます。(最小実施人数2名)	実施日時	8月7日(水) 8月8日(木) 9:00~16:00			
対象者	2次元CADの操作ができる方、又は、「2次元CADによる建築製図基本講座」を受講された方	定員	5	受講料	6,000	

土木技術者セミナー	コース名	土木入職者研修(1)	日数	2	時間	12
	概要	本講座は、県内建設会社に就職した新入社員(現場監督)を対象として、土木施工管理に対する基礎知識を学び、基礎力向上を目指すことを目的として開講するものです。 (今春4月に入社された方が対象です。) 本講座は、施工管理業務(安全管理・工事測量(基礎))に特化した内容となっています。 (最小実施人数2名)	実施日時	4月16日(火) 4月17日(水) 9:00~16:00		
	対象者	土木関連職種の方(現場監督)、高校・大学等で土木(建築)を学習し、今春4月に入社された方	定員	6	受講料	6,000
	コース名	土木入職者研修(2)	日数	2	時間	12
	概要	本講座は、県内建設会社に就職した新入社員を対象として、土木施工管理に対する基礎知識を学び、基礎力向上を目指すことを目的として開講するものです。 講座では、オートレベル、トータルステーションを用いて実践的(基礎)な工事測量について解説します。 (最小実施人数2名) (今春4月に入社された方が対象です。)	実施日時	4月18日(木) 4月19日(金) 9:00~16:00		
	対象者	土木関連職種の方(現場監督)、高校・大学等で土木(建築)を学習し、今春4月に入社された方	定員	6	受講料	6,000
	コース名	土木入職者研修(3)	日数	5	時間	15
	概要	本講座は、県内建設会社に就職した 新入社員 (現場監督)を対象として実施するものです。高校等在学中に2級土木施工管理技士(学科)に合格したが、知識が定着しておらず実践で活かすのに不安がある方、2級土木学科試験(前期試験)を受検するにあたって学習した内容を復習したい方、 <u>実地試験(経験記述は除く)に向けて今のうちから準備を進めたい方にお勧めです。入社後1カ月経過したフォローアップ研修の位置付けで実施します。各社同期入社の方々とは情報交換を行うことで現場監督としての意識を高めてもらうことを望みます。</u> (最小実施人数2名)	実施日時	5月1日(水) 5月8日(水) 5月15日(水) 5月22日(水) 5月29日(水) 18:00~21:00		
	対象者	土木関連職種の方(現場監督)、高校・大学等で土木(建築)を学習し、今春4月に入社された方	定員	6	受講料	6,900

申込み及び受講方法について

○ 受講を希望される場合は下記事項をご確認のうえ、受講申込書に必要事項をご記入いただき、FAX、メールまたは郵送により下記連絡先までお申し込みください。

1. 受講料は、お申込み後に送付される納入通知書により、受講前に納入いただくこととなります。納入通知書で納入いただく受講料の他に、テキスト代が必要なコースがありますのでご注意ください。御不明な点については、下記までご連絡ください。
2. 納入いただいた受講料については、講座が実施されなかった場合を除き、お返しできませんので予めご了承ください。
3. 締切日以前であっても、定員に達した場合には申込みを締め切る場合があります。**(原則として締切日は実施日初日の2週間前となっております。)**
4. 講座の実施については令和6年3月現在の情報ですので、変更される場合があります。最新の情報については、本校ホームページにてご確認ください。
5. 東日本大震災により被災された労働者が受講する場合、受講料の免除の対象となる場合がありますので、お問い合わせください。

○ 申込書(「公開講座受講申込書」)は、本校ホームページよりダウンロードが可能です。また、FAX、郵送での送付も行っておりますのでお問い合わせください。

産業技術短期大学校ホームページ : <http://www.yamagata-cit.ac.jp>



連絡先: 〒990-2473 山形市松栄二丁目2番1号 産業技術短期大学校 教務学生課
直通:(023)666-8782 代表:(023)643-8431
FAX:(023)643-8687 E-mail:koukai@yamagata-cit.ac.jp

会場案内図



- ・バス: 山交ビルバスターミナルより門伝・柏倉・荻の運行で産業技術短大東バス停まで降車後徒歩(約1分)
- ・タクシー: 山形駅より約15分